

## 一般質問通告書

受領日時 令和6年8月26日 午前・午後10時05分 8番 氏名 工藤政彦

質問項目	質問の要旨
1 五城目高校の存続に伴う協議会の設立について	<p>(1) 県教育委員会は、「第8次県高校総合整備計画」(2026～35年度)の素案を公表した。少子化に歯止めがかからない中、各地区で統合や地域校化の再編を進めるとし、再編の必要性が見込まれる地域では具体的な構想案を示すこととしている。もちろん統合が余儀無くされる高校もあるが、五城目高校、湯沢翔北雄勝校は、「入学者数の推移を見極めながら、方向性を検討」と示された。</p> <p>高校があることで町ににぎわいが生まれ地域活性化につながる。五城目高校の存続に向けた協議会等の立ち上げが必要と考えるが。</p>
2 鳥獣被害対策に伴う「電気柵」設置者への町単独補助金の交付について	<p>(1) 鳥獣被害防止総合対策交付金事業のメニューとして電気柵・ワイヤーメッシュ柵等の侵入防止柵の整備があるが、侵入防止柵の整備の実施における受益農家の戸数要件が、原則、受益戸数3戸以上であることや整備地区の設置後の見回りや補修等の管理について地域ぐるみで継続し行っていくなどの課題が煩雑であり、電気柵等の設置希望者は申請しづらくなっていると感じる。</p> <p>最近ますますイノシシ等の農作物被害の報告が増えていることから、申請しやすくする町単独事業として補助金の交付ができないか。</p>
3 内川川と富津内川と馬場目川のそれぞれの合流部に排水機場(排水ポンプ)の設置を	<p>(1) 先月25日～26日にかけての夜中、内川川の上流部、五城目町と三種町の町境界付近に強く降った雨により、25日23時過ぎから26日1時頃に一気に内川川の水位が上昇し、川沿い付近の住民は家屋浸水の心配をした。田んぼや地区周辺の林道の路肩崩落などあったようだが、3年連続の家屋浸水とならず一安心したもの的大雨の度に心配が絶えず地区住民を思えば心が傷む。今、日本列島に上陸する予報の台風10号にも予断を許さない状況だ。</p> <p>早期の内川川のバイパス河道の完成を望むが、内川川と富津内川と馬場目川のそれぞれの川の水を排水ポンプで強制的に送出するために合流部に排水機場の設置を。</p>

<p>4 矢田津世子の肖像写真の設置について</p>	<p>(1) 今年没後80年を迎えた作家矢田津世子、未発表小説「みぞれ」が発見されるなど没後80年の節目に津世子の再評価が進み、町に研究者やファンが訪れることを期待しながら、朝市通り入口にある矢田津世子文学碑コーナーに津世子の肖像写真を設置してはどうか。</p> <p>五城館にある矢田津世子文学記念館への誘導も兼ねた肖像写真の設置を望む。</p> <p>屋外だと普通の写真はすぐに劣化し色褪せてしまうが、写真陶板(フォトセラミック)は陶磁器製で写真をタイルへ焼き付けする工法のため半永久的に色褪せしないと聞く。津世子の文学を朝市に来られる方々に知らせる意味から是非とも必要と感じるが。</p>
--------------------------------	---